

業務効率化ではない。「業務を任せるAIエージェント」の構築・内製化支援サービスを提供開始

AIエージェント活用環境の初期セットアップから運用までを月額15万円から伴走支援。必要に応じた個別構築まで段階的に支援。

SNS・インフルエンサーマーケティングを中核に、ファン・コミュニティとAIを掛け合わせた「人を基軸としたマーケティング事業」を展開するLIDDELL株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:福田 晃一、以下リデル)は、企業のAIエージェント活用・内製化を支援するサービスを、2026年6月30日(火)より提供開始いたします。



LIDDELL

業務効率化ではない。
『業務を任せる
AIエージェント』
構築・内製化支援サービス

企業のAIエージェント活用・内製化を伴走支援

2026.06.30 提供開始

資料作成
調査
顧客対応
分析

AI
エージェント
オーケストレーション

LIDDELL

The advertisement features a central graphic of a person in a suit standing before a glowing blue sphere labeled 'AI エージェント オーケストレーション'. Four icons are connected to the sphere: a document for '資料作成', a magnifying glass for '調査', a speech bubble for '顧客対応', and a bar chart for '分析'. The background is dark blue with light trails.

AIチャットに都度指示を打ち込み、出力を確認し、次の担当者へ転送する——。その「つなぎ作業」に人が追われている限り、生産性の天井は変わりません。

本サービスは、リデルが自社業務で実際に試し、多くの企業への研修や導入支援を重ねてきたAI活用の知見をもとに、企業ごとの業務環境に合わせてAIエージェントの導入・活用・内製化を支援するものです。

まずはAIを活用できる環境の初期セットアップから始め、運用アドバイスを通じて、企業がAIを日

常業務に取り入れやすい状態を整えます。そして業務フローに合わせたAIエージェントの個別構築支援、研修、マニュアル化、定例ミーティング、PDCA運用支援などに進んでいきます。

■AIはやってる。でも、結局チェックや修正など、業務は「人」がつなぎ続けていませんか？

メール・チャット・スプレッドシート・タスク管理・会議メモ.....。

便利なAIが増えるほど、「集約・転記・確認・整理・照合」のつなぎ作業が人に積み重なっています。

ChatGPTやGeminiなどのAIチャットを使っても、指示を入力し、回答を受け取り、整理・実行はまた人が担う。

この繰り返しが消えない限り、組織の成果創出に集中できません。

業務現場には、こうした声が積み重なっています。

- ・AIチャットへの入力・確認・修正指示に、結局ひとりで1～2時間かかる。
- ・AIのやり方が人に依存していて、担当が変わると同じ品質が出せない。
- ・AIツールを追加しても、業務フローそのものは変わらないまま。

必要なのは、AIツールの追加だけではありません。

業務そのものを整理し、AIが実務に組み込まれる「仕組み」をつくることです。

■AIエージェントとは何か？

業務の「効率化」ではなく、「業務そのもの」を自律的に対応してもらいます。

従来のAI活用では、人間が毎回指示を出し、出力を確認し、次のステップを再入力します。

AIエージェントは、この構造を変える可能性を持っています。

従来のAIが「点(タスク)」で動くのに対し、AIエージェントは「線や面(プロセス・ゴール)」で動きます。

従来：人間が「〇〇市場について調べて」とAIに聞き、返ってきた内容をコピーしてまとめる。これを何度か繰り返して完成させる。

エージェント:「〇〇市場への参入障壁と成功要因を分析し、役員向け提案書を作って」と丸投げする。エージェントが自ら検索、データ分析、競合サイトのデータ抽出を行い、足りない情報を自問自答で補いながら、完成された提案書を朝までに仕上げしておく。

人間の役割は、「すべてを自分で処理する作業員」から、「仕事を設計し、判断し、方向を決めるマネージャー」へと進化します。ルーティンのつなぎ作業から解放された組織は、判断・創造・対話といった本質的な仕事に集中できます。

■活用領域 | まずは効果を確認しやすい業務から小さく始める

本サービスでは、企業ごとの課題に応じて、AIエージェントの活用領域を整理し、導入しやすい業務から段階的に支援します。

たとえば、以下のような領域での活用が可能です。

- ・SNS運用・マーケティング支援
- ・問い合わせ対応・FAQ整備
- ・営業資料・提案資料の作成補助
- ・レポート作成・情報整理
- ・社内ナレッジ活用・業務改善

これらはあくまで活用例であり、すべてのメニューを一律で提供するものではありません。

実際の支援内容は、貴社の業務環境・使用ツール・セキュリティ要件・運用体制に応じて設計します。

まずは効果を確認しやすい業務から小さく始め、使いながら広げていくアプローチをとります。

※各メニューの詳細はお問い合わせにてご提供します。

■AIを使える環境を整え、構築まで伴走支援

本サービスは、AI活用環境の初期セットアップ、リデルがAI研修や構築支援で培ってきた知見・運用ノウハウを活用できる環境の提供、簡易相談の伴走支援を基本とし、必要に応じて個別構築や研修まで拡張できる支援サービスです。

基本プランで提供すること

- ・AI活用環境の初期セットアップ
- ・Claude/MCPなどの基礎知識レクチャー・導入・設定支援
- ・企業のセキュリティ環境に合わせた初期設定
- ・簡易的な日常アドバイス

■AIエージェント構築・内製化支援：料金プラン

初期セットアップから運用支援まで、始めやすい料金体系でご提供します。

○ 初期費用：20万円
(AI活用環境の初期セットアップ／Claude／MCPなどの導入・設定支援／稼働確認)

○ 月額支援費：15万円／月
(簡易相談／AIエージェント構築支援)

問い合わせ・お申し込みはこちら：<https://influfect.com/news/8283/>

※個社ごとの業務フローに合わせたAIエージェントの個別構築、研修、定例ミーティング、PDCA運用支援、大規模なカスタマイズは別途お見積もりとなります。

※対象業務・接続範囲・セキュリティ要件に応じて、個別見積もりを承ります。

■内製化は、続けるほど効いてくる投資。

外注を継続すると、プロジェクトごとに費用が発生し、ノウハウも仕組みも社内に残りにくくなります。

リデルの内製化支援では、プロジェクトで得た知見・ノウハウを社内に蓄積し、標準化された業務フロー・社内オペレーション・AI活用ルールとして資産化することを目指します。

AIエージェントは、単に作って終わるものではありません。

使いながら改善し、社内の業務に合わせて育てていくことで、成果を積み上げていく仕組みです。

■今後の展望

リデルは今後、本サービスを起点に、企業の業務資産そのものを「AIが活用しやすい構造」へとアップデートしていく支援を強化してまいります。

業務・HR・営業・マーケティングだけでなく、社内ナレッジや意思決定プロセスに至るまで、AIエージェント活用を段階的に支援する体制を整えてまいります。

リデルはこれからも「個人の影響力を、人々の未来のために。」というミッションのもと、テクノロジーを駆使して人の可能性を最大限に引き出し、企業課題の解決に取り組んでまいります。

■サービス概要

サービス名 : AIエージェント構築・内製化支援

提供開始日 : 2026年6月30日(火)

対象企業 : AIエージェント活用・AI内製化を検討している企業

提供内容 : AI活用環境の初期セットアップ、AIエージェント構築支援・アドバイス

初期費用 : 20万円
月額支援費 : 15万円/月

問い合わせ・お申し込みはこちら: <https://influfect.com/news/8283/>

【本件に関する報道関係のお問合せ】

リデルでは本プレスリリースに関する内容のほか、「SNSナレッジAI」「AIエージェント」「業務自動化」「SNS・インフルエンサー」「ファン・コミュニティ」「AIプロダクト」関連の市場動向・トレンド・ナレッジ・各種データなどを共有すると共に、取材についても積極的に対応させていただきます。また弊社役員や専門スタッフに関する取材も承っております。お気軽にお問合せください。

リデル株式会社 担当: 鈴木
メール: pr@liddell.tokyo
電話: 03-6432-9806

[企業情報]

リデル株式会社 / LIDDELL Inc.

コーポレートURL: <https://liddell.tokyo/>

[One-Talk Site / ワン・トークサイト]

1回話だけの、AIホームページ制作

URL: <https://ots.influfect.com/>

[INFLUFECT / インフルフェクト]

“自動運用型” SNS・インフルエンサーマーケティングプラットフォーム

URL: <https://influfect.com/>